

キャンプファイヤーの準備と片づけ

準備・片づけは基本的には団体引率の方で行っていただきます。時間を組み込んでください。

まずは事務室へお越しください。事務室でレンタル備品を受け取った後、シャッター倉庫からリヤカーで備品を運びます。この時、トーチ用の布を忘れずにお持ちください。

(準備の開始時間は、ファイヤー開始の30分前を目安に設定しています)

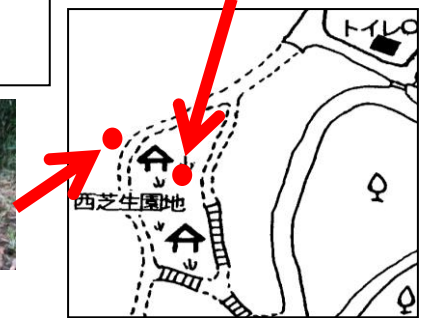
★ファイヤーかごをファイヤー場の中央に移動します。

※ファイヤー場の中央にレンガが敷いてあります。

レンガがあるところにセットしてください



かごは東屋脇の茂みに置いてあります



★ファイヤーかごの中に井桁を組みます。



- ①薪の束から、太い薪を選びます。
- ②選んだ薪をタテ・ヨコ順番に乗せていきます。

⚠ 岬の中は、海からの風が突然強く吹くことがあります。安全上、井桁の薪はかごより高く組まないでください。



★点火口を作ります。



- ③新聞をおたまじゃくし型にします。
- ④しっぽの部分が井桁の外側に出るように、井桁の底に新聞を仕込みます。これが点火口になります。
- ⑤火を付ける人数分の点火口を作ります

↓上から見ると



↓外側にしっぽが出ます



↓3人で点火する場合



☆しあげです。



⑥細い薪を井桁の中に差し込みます。

※薪は山型に整えると、炎がきれいに燃えます。

実際は、こうなります⇒



※残りの薪は、かご脇の安全な場所に固めて置き、キャンプファイヤーの最中に適宜くべながらお使いください。

⑦差し込んだ細い薪の上から、適量の灯油をかけて完成！

※あくまで、点火補助のための燃料になります。

灯油をかけすぎると、薪があっという間に燃え尽きてしまうので要注意。

☆トーチ棒のセット



①トーチの先にある器に、布を詰め込みます。

②詰めた布に適量の灯油をしみこませます。

※棒の部分に灯油が垂れないように気をつけて行います。

※トーチの火は、水につけて消火します。

そのため、キャンプファイヤー中にトーチを2回使う場合は、トーチ数×2枚分の布をご用意ください。

キャンプファイヤー実施中は、防火対策として水をくんだ金バケツを火の近くに用意してください。



☆後片づけについて

【完全消火】

ポリバケツの水を金バケツで汲み、かごの中の火を完全に消火します。同時に、かごにも水をかけ、温度を下げます。

【炭・灰の完全撤収】

消火した炭・灰は全て、灰入れ用の缶に集めてください。

【現状復帰】

運動園地で実施の場合は、かごを元の場所へ戻します。

- ・忘れ物&落し物（薪の残りや針金）チェックをお願いします。
 - ・借用物は、それぞれ借りた場所へ返却してください。（放送機・衣装は事務室へ）
- キャンプファイヤー終了時刻に、スタッフが現地へ伺います。

※片づけ担当の方は、スタッフが到着して最終確認を受けてから施設へお戻りください。

緊急連絡先：大房岬自然の家

0470-33-4561